

やまつき〜くらぶ新聞

やっとなりまして♪

秋の大感謝号

発行:(株)山喜

編集:やまつき〜くらぶ編集長・松本望

皆さん、こんにちは！やまつき〜くらぶ編集長の船ちゃんです。「やまつき〜くらぶ秋号」をどうぞお楽しみ下さいませ♪

それにしても今年の夏はホント暑かったですね！もちろん山喜の現場にはクーラーなんてないので、そりゃもう毎日タイヘン(泣)

でもですね、ちよつとほっこり♪するようなこともあったりして、今回はそのお話をご紹介します♪

山喜のお店は十字路のちょうど角に位置してるんですけど、初夏から秋口にかけて西日がけっこうきつく当たるんです。

そこで西日をさえぎるために西面の窓と壁に、朝顔と風船かずらをはわせてるんですよ。

で、この朝顔と風船かずらの世話をしているのが何をかくそう？わが山喜の社長(松っちゃんの父親)なんですね。

園芸やガーデニングには興味の無い人だったのですが、たまたまいただいた朝顔の種をプランターに蒔いてみると、すくすくと育ち見る見る間に大きくなりました。

朝顔のつるが巻きやすいように壁にフェンスを付けたり、ロープを張り巡らしたり、いろんな工夫を凝らしています。今では朝顔に加えて、風船かずらも加わって賑やかになってきました。

いやいや～
大したこと
ないですよ

ワハハハ



そうでしょ
そうでしょ
キレイでしょ♪

社長ですよ

かたや、私はもっぱら見てるだけで何もしてませんが、建築に関わる者のはしくれとしてキッチリ見ているところは見ているのですよ。
(言い訳に聞こえます?)

お店の中から外を見るとよくわかるんですけど、葉と葉の間を通過してくる木漏れ日がなんとも優しく、キレイでとってもほっこりしちゃいます。人工のモノだとなかなかこうはいかないですね。

朝顔は
5月ごろに種まきします。
そうすると夏の間中
きれいな花を咲かせて
くれるんですよ。



また朝顔の種にしても、最初だけはいただいた種でしたけど、今では初夏に種を植え、秋口に種を収穫し、翌年再び種を植えることが毎年の恒例行事になりました。そして取れた種をご近所の方々にお分けしたりすること♪

そして今年も種の収穫時期を迎えました。

今年はいっぱい採れるかな？

ホントに小さなことではあるけれど、これも自然とともに生きるっていうんでしょうか、

地球と仲良くする方法の一つかも？

なんて思うんです。

建築とリフォームが山喜の仕事なんですけど、ただ単に古いモノを壊して新しいモノを造るということではなくて、自然のモノや今あるモノを大切に生かしながら、それでいて、住む人みんなが暖かい気持ちになれるような仕事をしていかなきゃと、珍しく？真面目に考えているわけです(オッホン!)

これが風船かずら。
「ほうづき」に似ていて
薄緑色をしています。



まっ

松ちゃんは今日もがんばってるぜ!のコーナー♪



前号より大好評?のこのコーナー、今回はさらにパワーアップ!してお届けしてまいります。

さて、わたくし松っちゃんですが、なにを隠そう自他ともに認める**高所恐怖症**なのです。簡単に言うと高いところが大の苦手なのです。

でもこんなのは高いとこさえ行かなければいいだけのことなので、普通はどうってことないんです。

でもですね、松っちゃんの仕事は建築です。悲しいことに時と場合によっては、高〜い所にも登らなくちゃいけません。

でもワタシはそんなとこに登るのはイヤなので(ああ我ながら情けない・・・)、下で偉そうに指示だけするんですよね。ほんととはそんなに偉くないのに(笑)

みんなごめんなあ〜。高いとこに登る以外のことでガンバるから許してくれ〜なんて思いながら、松っちゃんはココロの中で泣いているのだ!

さて、そんなこんなでなんとか日々の仕事にあたっているわけですが、つい先日のこと、タイヘンな仕事に舞い込んでまいりました...

さて、その仕事とは?

それは、でっかい倉庫の屋根近くに設置されている換気扇の修理の仕事です(号泣!)

具体的に言うとですね、「高所作業車」という



特別なクルマのゴンドラに乗って、

30メートル!くらい上がって、倉庫の壁についてるでっかい換気扇を修理するんですって!(気絶寸前...)

その倉庫なんですけど、とりあえず三階建らしいです。でもよくよく聞いてみると、それぞれの階の天井がすごく高いので、普通のビルで言いますと**10階建**の高さらしい!(気絶しました...)

なんとかこの仕事から逃げよう遠慮しようと思い、山喜スタッフのシフトを調整したんですけど、この日なんとか都合が付くのは松っちゃんと、前号の紹介コーナーに登場した矢野くんの二人のみ。

もうこうなったら仕方ないです、

清水の舞台から飛び降りるつもり

(ホントにそんな気持ち...)で、正々堂々?と、この仕事をがんばっちゃおうじゃありませんか!

さあ!矢野くん行くぞつ!と勇ましくゴンドラに二人で乗り込んで、自分たちが乗ったゴンドラをぐわ〜んと上げていきます。

ぐんぐん上がって行って、高さ15メートルくらいまでは、あれれ?意外に?平気です。これって案外コワくないかも?

これに気をよくしてさらに上げていくんですが、高さが30メートルに近づくにつれて、**なんだか揺れ方がはげしくなってくるじゃありませんか!**

おまけに風なんか吹いちゃった日には、「こっこれって大丈夫なんっ?!!」と不安感も最高潮!!(注:正しく使用するかぎりは安全です。倒れたりはいしませんので。)

でもココで降りるワケには行きません。しっかり仕事を終わらせなくては!

で、二人でもうこれまでにないくらい集中して、修理を終わらせて、なんとか無事に地上へ...

やっとこさゴンドラから降りると、松っちゃんも矢野くんも足ががくがく言ってます。

そして二人は、「生きて帰れてよかったなあ(号泣)」と互いに言いながらひしと抱き合ったのでした。(かなり大げさに書いていますがだいたい本当)めでたしめでたし♪

みつちゃんのちよつとひとこと♪

山喜スタッフのみんなが
外回りに出ちゃったあと
事務所でがんばってるのが
なにをかくそう、
わたくし「みつちゃん」なのです。
日々感じたあれこれを書いてい
こうと思っているんですよ♪



こんにちは！**みつちゃん**です♪

ついこの間までモーレツに暑かったのに、なん
だか急に秋らしくなってきましたね。

山喜のスタッフみんなも、これまでは毎日大汗
かきかき仕事していましたが、やっと涼しくなっ
てきて、きっと仕事もこれまで以上にはかどると思
います。そういう私もバリバリがんばらなくっちゃ♪

ということで早速、「**みつちゃんのちよつとひと
こと**」のはじまりはじまり～！

さてさて、今回はうちの犬の話なの
です。**名前はミント**といいまして、
ミニチュアダックスフントの
女の子なんです。

ちょうど3年前に、縁があって
うちにやってくることになりました。



とにかくこわがりで、よその犬をみても、人をみ
ても吠えてばかりで、散歩も大嫌いなんです。

まだきて間もない頃のこと、うちから1キロ離れた
公園へ娘が散歩に連れて行きました。

まだ3ヶ月の子犬だし、こわがりだからきっと自分
のそばから離れないだろうと思ってひもをつけない
でいたんです。

そうしたら同じように放されていたよその犬に追
いかけて、なんと公園からでていってしまった
んです！**娘は真っ青**になってしまっ
て、ミントを探しながら家に帰ってみると…

となんと！！隣の人ミントを抱っこしていました。
聞いてみると、隣の人家の前に座っていたらしい
んです。

「えらかったねミント、ほんとによかったね、帰っ
てきてくれてありがとうね」と家族みんな一安心。

でもですよ、よ～く考えてみると…

どうして帰ってきた先がお隣さんなの？

**ちよつとちよつとミントちゃん、あなたツメが
甘すぎませんか？**

おかげで、なんだか情けなくなっちゃって、安堵
と感激の涙が途中でとまってしまいました。

それからこんなこともありました。先の行方不明
事件から1年くらいたったある日、私が散歩に連
れていたときのこと。

いつもはやく帰りたい一心で、ひもをグイグイ引
っぱるんですけど、この時ばかりは**金具がバキーン！**
と音をたててこわれてしまいました。

これはチャンスとばかりに、ミントはUターンをし
て全速力で走り出します！

私はミントー！ミントー！と叫びながら追いか
けますが猛スピードで逃げるので全然追いつけず
に、とうとう見失ってしまいました…

どうか無事に家に帰り着きますように！と祈るよ
うな気持ちでいると、

なんと！！曲がり角からミントが出てきて、しらあ
～とこっちに向かって走ってくるではありませんか！

そしてその後ろからは近所のおばさんが自分の
犬をつれて…

なんだかわからないけど、まあ無事で良かった
と思いながら、座って手を広げて待っている私の
ほうにミントはずんずん近ずいてきました。

でもですよ、なんだか様子がおかしいぞ？！

と思ったら、**こやつはやっぱり私の横を素知ら
ぬ顔ですりぬけようとするじゃありませんか？！**

その瞬間(ぜーったい捕まえると念じて)サッカー
のキーパーのようにキャッチ！！！！！！

するとミントは、「**あ、いたの？**」みたいな感じ
で私の顔をペロペロ♪

しかしこの犬、いったいどこへいくつもりなん
でしょう？？まったく理解不能です…

ところで、だれですかあ～？

**ちよつとまぬけな感じが飼い主に似てるって
いったのは？**

(はつきり違いますって言えないところが我ながら
情けなかつたりして(笑))

そんなこんなで今回は、
我が家のちよつと？
まぬけなミントの
ご紹介でした♪



知ってるようで知らない？山喜のスタッフはこんな人たちなのだ！ いっしょにガンバってる仲間たち大公開コーナー

やまつき〜くらぶ・サチコがお届けする、山喜スタッフをとことんオープン？に紹介するコーナーなのです。今回は、ちょっと愉快な水道屋さん、びりりとスパイスのきいた大工の棟梁をご紹介します。そのうちアナタのお家におじゃまするかも？



中嶋 毅(ながしま たいけい)

S35年生まれのA型なのだ。
なにをかくそう、やまつき〜くらぶ編集長の松ちゃんの高股以来の親友です。水道のお仕事の時にお会いしましょう(笑)

「水道屋さんにしておくのはモッタイないで！」とモッぱらウブサのイケメンさんです(ホント？)

それもそのはず、学生時代は校門の前で他校の女子がラブレターを渡そうと待ち伏せしていたとかいないとか…(中嶋さん本人談)

水道の仕事とは全然関係ないんですけど、お話がとても上手で、中嶋さんがいるだけでその場がぼぼっ〜と明るくなっちゃうんですね。

そんなところを生かして、いろんな会合なんかで勝手に司会進行しちゃうこともあるらしいです。

でもですね、ご本人によると、調子良くおしゃべりしすぎて、「はっ！」と気づくと自分ばかりしゃべって人の話を聞いてないこともあるとか。

そんな時には「ああオレも修行が足らんなあ…」としょんぼり。ちょっとちょっと中嶋さ〜ん！ おしゃべりのほうじゃなく、水道屋さんのお仕事のほうもしっかり頼みますよ〜！



門脇 希代美(かどわき きよみ)

大工の仕事以外にも、モノづくりに関することには何でも興味が湧いちゃうらしい。
やっぱり根っからの職人さんなんですね！

山喜といつもがっちりタッグを組んでがんばってくれている腕利きの大工の棟梁さんです。

なぜかご本人の希望で年齢はヒミツ。そしてA型。

とっても穏やかで、いつでも誰にでも優しいんです。でもご本人によると、お腹が空いている時だけはちょっと短気になるらしい(笑)

そうそう、編集長の松ちゃんに聞いたんですけど、いい加減なことや、中途半端なことを見つけると、そりゃもう鬼のように怒るらしいですよお〜(にれっていいことですよ？)。

これからの夢は、目一杯仕事をがんばって、その後で奥様といっしょに日本中を旅行して、大好きな日本の四季、動植物、田舎の風景などなどを楽しみたいという自然派&愛妻家さんなんです。

棟梁、これからもよろしくお願いしますね！

●編集後記●

前号のやまつき〜くらぶをお届けしてから、たくさんのお客様に、「やまつき〜くらぶ読んでますよ」や、「松ちゃんってアナタでしょ？」なんて言っていたさ、編集長の松ちゃんとしては、そりゃもうタイヘンうれしいです！

正直、立派なことばぜんぜん書けないですけど、仕事を通じて感じたことや、日々の暮らしで思ったことなんかを

お伝えして、お客様との距離が少しでも近くなればいいなあ！なんて考えてるんですよ。

季節の変わり目なので皆さんお身体に気をつけてくださいね。私たち山喜スタッフ一同も気を引き締めてがんばります。

ではまた次号をお楽しみに！

山喜スタッフの日々あれこれ
やまつき〜くらぶ新聞
秋の大感謝号

発行(株)山喜

編集:やまつき〜くらぶ編集長・松本望

発行2007年10月吉日

住吉区遠里小野でこつこつ真面目に40年。

建築・リフォームの(株)山喜

でんわ 06-6693-7981 FAX 06-6693-5567

〒558-0032 大阪市住吉区遠里小野5-18-12

ホームページ <http://wakuwaku-house.com>

建築業許可:大阪府知事認可(般-17)第114429号

資格:インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター、

施工管理技士、耐震診断士、特定化学物質除去作業員、

増改築相談員、住宅断熱施工技術者等